

LES STRUCTURES ÉLÉMENTAIRES
DE LA PARENTÉ

STRUCTURALISME

CLAUDE
LÉVI-STRAUSS
人文学の学校KUNILABO

人類にとって文化とは何か？
——レヴィ=ストロース再考

LES MYTHOLOGIQUES

この講座では、20世紀最大の思想家とも言われるフランスの人類学者クロード・レヴィ=ストロースを取りあげます。

1960年代以降の思想界を席卷した「構造主義」の旗手として著名なレヴィ=ストロースですが、文化が自然と交差する地点から人類社会について考え抜いた彼の著作は、一過性の流行に留まらない影響を多くの人々に与えてきました。

彼の三つの主著をもとに、今日人類学におけるレヴィ=ストロース再評価の動きも紹介しながら、私たち=人類にとって文化とはいかなるものであり/いかなるものでありうるのかを考えます。

講師：久保明教（くぼ あきのり）
一橋大学大学院社会学研究科准教授
文化人類学・科学技術社会論

日時：第3土曜日（4/21, 5/26, 6/16, 7/21） 19:15～:20:45
場所：スペース・コウヨウ（国立駅南口より300m）
料金：一般8,000円・学生4,000円（全4回）

お申込みはホームページより受け付けています。www.kuniken.org



□ お問い合わせ NPO法人国立人文研究所
Email: kunilabo@kuniken.org
Tel: 050-5276-2662

